

一中学生の最善最高の自覚と実践 NO9(R5.12.21)

○校長より 『二学期を終えるにあたって』

長いと思われた二学期も明日(12月22日)終業式を迎えます。この二学期には様々な行事がありました。中でも、体育大会、合唱コンクール、文化祭は全校あげての取組でした。体育大会では、新型コロナウイルス感染症が5類になったの開催ということで、種目をどうするか、暑さ対策をどうするかなど生徒会の役員とも協議をしながら進めていきました。練習中及び当日も、生徒たちは自分たちでしっかり考えて行動していました。その姿に本当に感心させられました。すばらしい体育大会だったと思っています。合唱コンクールでは、全部のクラスが気持ちを一つに一生懸命歌う姿がありました。文化祭では、演奏あり、合唱あり、有志の歌もあり、そして様々なメッセージを込めた劇もありました。一中学生の才能の素晴らしさに感動させられました。

このような行事や毎日の生活を通して、「生徒たちは成長した」と感じています。特に三年生の落ち着いた生活ぶりには感心しています。さすが一中の最上級生です。一・二年生も確実に成長しています。もちろん課題がないわけではありません。しかし、「あの行動はおかしいよね」「あれはいけないよね」と、好ましくない行動に対してきちんとした考えを持つことができている生徒が増えています。しっかり考えて行動する生徒も増えています。課題がクローズアップされがちですが、一中は確実に前進していると思っています。

昨日、生徒会役員の新旧交代式を行いました。そこで、これまで一中を引っ張ってくれた旧役員の皆さんの頑張りや生徒会全員(全校生徒)の頑張りやを思ったときに、こみ上げてくるものがありました。それくらい、生徒たちは頑張ってくれました。新役員の決意表明では「八代一の学校にする」という言葉もありました。生徒たちは本当によく考えてくれています。今の生徒たちならば、もっと前進できると思っています。これまで「みんなが安心して笑顔で過ごせる学校」を目指して取組を進めてきていますが、まだまだ道半ばです。生徒たちみんなが安心して笑顔で過ごすことができ、持っている可能性を十分発揮できるような学校を目指して、あと三ヶ月、生徒と職員一緒になって頑張ってください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆最善最高☆ 『命の教育講演会』



☆自覚と実践☆ 『六校園小中合同あいさつ運動』

